

## IV 全国での動向と他自治体の取組

### 1 全国での動向

近年、人口減少に伴い、次の表のとおり、年々、全国の小学校及び中学校の数が減少しています。

国では、今後も国内人口は減少が続き、2050年には現在の約3/4程度になると推計されており、将来のあり方を検討する際には、施設やコストだけでなく、学校の教職員や自治体の職員も減少していくことも念頭に置く必要があるとされています。

全国の小中学校数の推移 (校)

区 分		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
小学校	国立	69	68	67	67	67
	公立	19,432	19,217	19,028	18,851	18,669
	私立	237	240	241	243	244
	計(A)	19,738	19,525	19,336	19,161	18,980
中学校	国立	70	69	68	68	68
	公立	9,371	9,291	9,230	9,164	9,095
	その他	781	782	778	780	781
	計(B)	10,222	10,142	10,076	10,012	9,944
合計(A+B)		29,960	29,667	29,412	29,173	28,924

※ 文部科学省 学校基本統計確定値より

### 2 他自治体の取組

近隣の名古屋市や瀬戸市などでは、児童生徒数の減少による学校統合が行われ、現在も進められています。また、一宮市や小牧市などでは、現在、学校統合に向けた取組が始まっています。

全国の統合事例件数 (件)

R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
111	168	152	160	132

※ 上記件数のほか、複数年度にわたって計画的に統合した事例7件

※ 学校規模の適正化及び少子化に対応した学校教育の充実策に関する実態調査より